

株式会社豊田自動織機

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none">● 業種：輸送用機器● 事業概要：自動車、産業車両、繊維機械の製造・販売等● 事業規模：売上高2兆39億円、従業員数61,152名 (ともに連結)
2.削減目標案	<p><Scope 1・2の削減目標と削減に向けた取り組み> 目標：目標設定ツールを活用し定量目標検討 取組み：生産ラインの日常改善や生産技術革新によるエネルギー使用量削減。再生可能エネルギーの積極的な導入と水素の利活用</p> <p><Scope 3の削減目標と削減に向けた取り組み> 目標：Scope3カテゴリ11を対象に定量目標検討 取組み：製品毎に省エネ性能を向上</p>

株式会社豊田自動織機

項目	内容	
3.基準年のGHGインベントリ[数値は任意]	<ul style="list-style-type: none"> ● Scope 1・2・3の排出量の状況 	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE1 : [tCO2] (任意)
	<p>スコープ1 (0.5%) スコープ2 (1.6%) スコープ3/ カテゴリー1 (5.1%) スコープ3/ カテゴリー11 (91.6%) スコープ3/ その他 (1.2%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE2 : [tCO2] (任意)
		<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE3 : [tCO2] (任意) 目標の対象セクター :

株式会社豊田自動織機

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<p>▽リスク</p> <ul style="list-style-type: none">・各国の燃費規制、排ガス規制強化による販売機会の喪失・自然災害などに伴うサプライチェーンの分断による操業停止 <p>▽機会</p> <ul style="list-style-type: none">・環境性能をより一層高めた製品の開発による売上拡大・省エネ活動の推進によるエネルギーコスト削減
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none">・次期環境中長期目標を設定する上での検討材料（2℃目標との整合確認）・SBT取得による社会的評価の向上を期待

株式会社豊田自動織機

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none">・4年前、環境省サプライチェーン排出量算定支援で算定したデータを元に目標値の検討を開始・対象範囲、対象事業、算出方法の見直しを通して、目標値案を検討できた・中期目標の検討に合わせた社内目標の設定と社内合意
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none">・SBT水準を満たす環境中長期目標の設定、社内合意・カテゴリ11について、製品ごとの排出量算定方法の精度向上・カテゴリ11削減のための技術開発